

お知らせ 当社は毎年、県内の環境放射線の広域調査を行っています。平成22年度の結果は全国水準と同レベルでした。

青森県内各地域の環境放射能と放射線量を調べる「環境放射線等広域調査(PAモニタリング)」(調査主体:日本原燃(株)、調査分析:(財)日本分析センター)の平成22年度の調査結果が、学識経験者及び県内の自治体関係者で構成される「PAモニタリング委員会」(平成23年6月28日開催)に報告されました。

この環境放射線等広域調査は、放射線がごく身近な自然界にも存在することを県内の皆さまにご理解いただく目的で、青森県全域にわたる9市町(弘前市・八戸市・五所川原市・十和田市・むつ市・つがる市・外ヶ浜町・深浦町・田子町)を対象に平成2年度から継続して実施しています。

◆調査方法と調査結果について

①環境放射能の分析

身の回りにあるさまざまな放射性物質は、飲食等によって人体に取り込まれることから、コメ、魚、野菜など17種類の試料を採取して含まれる放射能を分析しました。農畜海産物・海水に含まれる放射能の具体的な数値は、表1に示すとおりです。

②環境放射線の測定

空間を飛び交う放射線の四半期ごとの積算量を熱蛍光線量計で計測しました。9市町における空間放射線積算線量は、表2に示すとおりです。

◆調査の検討結果について

「PAモニタリング委員会」は、平成22年度の環境放射線等広域調査結果について、全国各地の原子力発電所などの周辺モニタリングを実施している17道府県の環境モニタリング調査結果、および全国の環境放射能水準調査結果が収集・管理されている「環境放射線データベース」(<http://search.kanky-hoshano.go.jp/servlet/search.top>)と照らし合わせて検討し、過去20年間の調査結果と同様に、「全国水準と同レベル」であることを確認しました。

表1 農畜海産物・海水に含まれる放射能

試料の種類	採取地域	測定結果	単位
畜産物 牛乳	田子町	セシウム137	0.023~0.03
		カリウム40	46~50
		ウラン234	*~0.00081
コメ	八戸市 弘前市 十和田市 五所川原市 むつ市 つがる市 外ヶ浜町 深浦町 田子町	セシウム137	*~0.081
		カリウム40	20~32
		ウラン234	*~0.0012
		ウラン238	*~0.00081
果物 リンゴ メロン	八戸市 五所川原市 弘前市 つがる市	カリウム40	33~67
		ウラン234	*~0.00068
野菜 長イモ ニンニク	十和田市 深浦町 つがる市 田子町	カリウム40	50~170
		ウラン234	*~0.00078
魚類 ヒラメ ホッケ イカ キンキ カタクチイワシ	八戸市 むつ市 深浦町 外ヶ浜町	セシウム137	*~0.11
		カリウム40	87~140
		ウラン234	0.0013~0.12
		ウラン235	*~0.0046
		ウラン238	0.0013~0.11
貝類(湖) シジミ	つがる市	セシウム137	0.013~0.017
		カリウム40	10~11
		プルトニウム	*~0.00058
		ウラン234	0.21~0.37
		ウラン235	0.0061~0.010
貝類(海) ホタテ	外ヶ浜町	カリウム40	73~89
		プルトニウム	*~0.0012
		ウラン234	0.13~0.17
		ウラン235	0.0051~0.0058
		ウラン238	0.12~0.14
海藻類 コンブ	八戸市 むつ市	カリウム40	350~360
		プルトニウム	0.0015~0.0032
		ウラン234	0.33~0.46
		ウラン235	0.011~0.015
水 海水	八戸市	ウラン238	0.27~0.39
		セシウム137	1.3~1.7
		ウラン234	46
		ウラン235	1.2~1.4
		ウラン238	38~40

注) ** 「定量下限値」未満のもの
定量下限値とは、測定条件や精度を一定の水準に保つため、測定試料・測定項目ごとに定めている基準で、正確に測定できる限界の濃度です。
◎ベクレル=放射性物質が放射線を出す能力を表す単位。ミリベクレルはベクレルの1000分の1を表す。

表2 空間放射線積算線量(四半期毎)



◎清野地域と南部地域で自然放射線の量に差が出ているのは、大地を構成している土壌や岩石に含まれる放射性物質の種類や量が異なるためです。
◎グレイ=放射線のエネルギーがどれだけ物質に吸収されたかを表す単位。マイクログレイはグレイの100万分の1を表す。